



いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

備えよう 大切な命 未来へと～「命を大切にする」ということ～

私は、子供たちにいろいろな場面で「命を大切にしよう」と話しています。学校生活の中で起こるけがや事故、友達との関わり、健康や安全について考えるとき、そして災害への備えを考えると、最後に大切にしたいのは「自分の命、そして周りの人の命」です。

9月1日は「防災の日」です。関東大震災の教訓を受け継ぎ、災害について考え、備える日として定められています。今年の夏休み中にも、熊本地震や千葉県の豪雨災害など、自然災害による被害が報じられました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。学校にいるときとは限らず、家にいるとき、登下校中、外で遊んでいるときなど、様々な場面が考えられます。

本校では「防災の日」にちなんで、9月1日前後に、各学級で防災学習を行っています。例えば、「学校以外の場所で地震が起きたら、自分はどうするか」といったことを考えます。大切なのは、周りのおとなの指示を待つだけではなく、「今、自分はどうすれば命を守ることができるのか」を自分で考え、判断する力を身に付けることです。

子供たちが学校で過ごす時間は、1年間の中で決して多くありません。災害が起きたとき、子供たちが家族や地域の方と一緒にいる可能性の方がずっと高いのです。だからこそ、防災教育は学校だけで完結するものではありません。家庭や地域とともに、「命を守る」ことについて考えていくことが大切だと考えています。

「命を大切にする」とは、災害から身を守るだけでなく、自分の心や体を大切にすること、友達の気持ちや命を大切にすること、危険を感じたときに「やめる」「逃げる」「助けを求める」と判断することも、命を大切にすることにつながります。

備えよう 大切な命 未来へと

～自分で考え、判断し、行動できる子に～

9月1日
「防災の日」

自分の命を守ることが
まわりの人の命も守ることに
つながります

家にいるとき

家具の転倒を防ぎ、
安全な場所を
確認しておこう

外にいるとき

落ちてくるもの・倒れてくる
ものから身を守り、
広い場所へ避難しよう

家族で話し合おう

避難場所や連絡方法を
確認し、いざというときに
備えよう

学校・家庭・地域がつながり、命を守る力を育てていきましょう。❤️

9月1日「防災の日」を一つのきっかけとして、ご家庭でも「もし今、地震が起きたらどうする?」「家族が離れているときはどうする?」など、命を守るためにできることを話題にしてみてください。

学校、家庭、地域がつながり、子供たち一人一人が「自分の命は自分で守る。そして、周りの人の命も大切にする」という思いをもつこと。それが、これからの防災教育、そして「自りつする子供」の育成にもつながっていくと考えています。

校長 袴田 真也

「もしも」に備えて ～学校・家庭・地域で考える～

9月1日の「防災の日」に合わせ、先週、全教職員による消火・通報訓練を行いました。

3つのグループに分かれ、校内の防排煙扉の動作確認や消火器の位置の確認を行ったほか、火災を想定した初期消火訓練、消防通報訓練にも取り組みました。

校内には30本以上の消火器が設置されています。普段はあまり意識することのない消火器ですが、今回、実際に校内を確認することで、「この場所にある」ということを知る機会となりました。また、20mごとに設置されている消火器を複数活用して初期消火に当たることの効果についても学びました。

通報訓練では、校長・教頭が不在という想定で、職員が実際に消防署へ通報し、現場の状況を伝えました。迅速な救助につなげるためには、正確な情報を伝えることが重要です。「もし自分が通報することになったら」という当事者意識をもって、真剣に訓練に取り組みました。



また、清水町消防署から4名の隊員の方にご協力いただき、火災発生時の初期対応や避難、通報の手順や準備について、具体的なアドバイスをいただきました。

今回の訓練を通して、いざというときに教職員一人一人が落ち着いて行動することの大切さを改めて確認しました。今後も、子供たちの安全を守るため、日頃から防災への意識を高めてまいります。

子供たちも「もしも」に備えて

本日、各クラスで防災学習を行い、学年に応じた内容で「もしも」の災害への備えについて学びを深めました。

4年生の授業では、「自分の命を守るためにできることを考えよう」をテーマに、地震の際に起こることや、南海トラフ巨大地震について学びました。そして、学校で地震が起きたときに危険だと思う場所や、倒れたり落ちたりしそうなものについて考えました。また、身を守るものがないときには、「ダンゴムシポーズ」で身を守ることも改めて確認しました。

災害から自分の命を守るためには、災害について知り、「もしも」の場面を具体的に想像しておくことが大切です。学校での学びを、家庭での備えにもつなげていきたいと思います。



地域の防災訓練にも、ぜひご参加ください

10月18日（日）には、町の総合防災訓練が行われます。災害はいつ起こるか分かりません。いざというときに自分や家族、地域の方々の命を守るためには、日頃からの備えと、地域でのつながりが大切です。

ぜひご家族で地域の防災訓練に参加し、災害時の行動や地域での助け合いについて考える機会にいただければと思います。